# ~ 第7回むらの伝統文化顕彰 ~

受け継ぐ農山漁村の価値ある伝統文化

# 「苗取り唄・田植唄・ 那須稲刈唄」の伝承

# 農林水產省農村振興局長賞受賞



< 田んぼの学校田植え風景 >

平成20年3月

水土里ネット 那須野ヶ原

# 2008年3月12日 オーライ! ニッポン全国大会 にて 賞 状 授 与





## ☆ むらの伝統文化顕彰選定委員会評 ☆

苗取り唄・田植唄・那須稲刈唄を伝承するため、春から秋へと続く昔ながらの農業の姿を復活し、子ども達へ農作業体験を実施している。また、水辺環境体験支援事業の実践フィールドに指定されるなど地域への広がりがあり、先人が苦労し開拓した那須野の農の景観保全にも繋がっている。こうした農作業体験や唄の伝承が学校や子ども達の生活と連動して行われている点を高く評価されました。

#### 推薦のことば

その昔、金毛九尾の狐が住むと言われた那須野の大地は、枯草しか生えていない荒れた寂しい原野で、冷たい刃のような空っ風が遮るもののない枯野を吹き抜け、一万町歩の土地には 一条の川の流れもなく、水なきところに住む者を拒み続けたところです。

明治政府の殖産及び華士族授産計画に基づき、この那須野の大地に多くの名もなき人たちが開拓の鍬を入れ、堀立小屋を作り、開拓の夢に燃える印南丈作・矢板武らの地元有志らとともに石ころだらけの那須野の大地に那珂川から水を引くという遠大な構想を立ち上げました。そして明治18年9月15日、日本三大疏水のひとつと言われる那須疏水が待ちに待った通水式を迎えたのです。

那須野の大地の人々は、「これで米が作れる。」と歓喜し、長い長い水との斗いに幕を閉じ、那須疏水の水音を聞きながら農民達は大きな希望に満ちあふれ米作りに励みました。こうして昭和30年代まで馬と手作業による農作業が続き、その農作業の労をねぎらう手法のひとつとして「苗取り唄・田植唄・稲刈唄」は生まれ、歌い続けられてきました。

しかしながら、農業の機械化とともに昔ながらの農作業の風景は姿を消していきました。 以前は誰もが歌うことができたその唄も、現在は知る人さえ少なくなっています。また、共同 作業であった田植えや稲刈りは、機械化や混住化によって個人の作業となり、地域の関係は 希薄になり、子供たちにとっても田んぼや農業は身近なものでなくなってきています。

そこで、昔ながらの農作業風景を復活させ、後世に残すため、平成4年10月、14名により 那須苗取り田植唄保存会を発足しました。当会は、翌年旧西那須野町(現、那須塩原市)の 文化協会に入会し、10人ほどの特別参加の子供たち(幼稚園生~6年生まで)と共に各イベン トなどに参加するほか老人ホーム慰問などの活動も行ってきました。

平成15年度からは、本会の活動に賛同し、水土里ネット那須野ヶ原(那須野ヶ原土地改良区連合)が推進本部となり、「田んぼの学校」〜米作り自然親子・体験塾〜とし正式に立ち上げました。水土里ネット那須野ヶ原とともに体験圃場に手作りの看板を製作・設置し、未来を担う子供たちに、食の大切さを伝え、歴史的な伝統文化の保存に貢献するため年間をとおした農作業体験活動を行ってきました。

平成15・16年度には、水辺環境体験支援事業の実践フィールドに指定され、栃木県全域の小学校教員、県・市町村職員、地域住民らとビオトープ池の造成や農業用水路への植栽、大田原メダカの放流を試み、農村再生の必要性を促してきました。平成18年度には、「田んぽの学校」全国フォーラムにて事例発表を行うなど、極めて積極的な活動が認められます。

当会の活動フィールドは、農林水産省の田園空間博物館整備事業においても祭りやイベントのサテライトに指定され、地域に親しまれています。

また、田んぼの学校「刈込どじょっこ会・ほたるの里百間の会・開拓の里あわしま会・自然の恵み会・わらしこ自然研究会」を次々に発足させた当会の活動は、水土里ネット那須野ヶ原「田んぼの学校推進本部」の目的達成のため大きな原動力となったことを高く評価し、平成19年度「むらの伝統文化顕彰」に推薦応募し、準大賞の栄に輝きました。本会の日頃の活動に敬意を表すとともに、日頃、当会活動に格段のご支援をいただいている関係各位の皆様に深く感謝申し上げる次第です。

平成20年3月21日

那須野ヶ原土地改良区連合 理事長職務代理者 副理事長 菊地 泰治

# 【田んぼの学校年間スケジュール】

#### 4月 入校とりまとめ

三島地区子供会連合会の生徒を対 象に入校を取りまとめ。

#### 種まき体験

入校した親子の手によって、開校 式・田植え体験にむけての「種まき 体験」を実施。田植えの前日、保存 会のメンバーにより苗取りを実施。







### 5月 開校式・田植え体験

式典・神事等が執り行われ、田の神様に安全や豊作を祈願した後、軽快な笛の音 色に合わせた威勢のいい田植え唄を聞きながら、田植え体験を実施。

子供たちは裸足になり、大人たちは、男性ははっぴ姿に笠をかぶり、女性は頭に手ぬぐいを巻き、絣のもんぺにたすき掛けという昔ながらの作業衣姿で臨む。









## 7月 除草体験

昔ながらの除草機を使用して除草体験を 実施。雑草の種類と役割を指導、また、 田んぽの生き物調査を行う。





## 8月 ビオトープ池の清掃

体験圃場のとなりに造成したビオトープ池の清掃。増えすぎてしまった水生生物の除去作業や、水田まわりの植物観察を行う。これらの様子は、NHKで放送される。





水辺環境体験支援事業の実践フェールド

### 10月 稲刈り体験

鎌の使い方を指導し、唄に併せて稲刈りを実施。刈り取った稲は、はぜ掛けに して乾燥させる。





脱穀・籾すり体験

昔ながらの道具(とうみや千歯こき)を使い、脱穀・籾すり体験を実施。







## 11月 収穫祭

近くの公民館で一年の集大成で ある収穫祭を実施。田んぼの学校 の参加者だけでなく、地域住民も 広く参加して盛大に行われる。収 穫したもち米で杵と臼による餅 つきや「三島おはやし会」による 演奏の披露など。

また、これまでの活動写真を展示 し、活動を広くPRしている。











## 12月 正月飾りつくり体験

一年の締めくくりとして、収穫後の 稲藁を利用して正月飾りを作成。 正月飾りは、本格的なもので見栄え が良い。









設立当時の那須苗取り田植唄保存会のメンバー

~~ 皆さん、仕事の合間をぬって頑張っています ~~



# 水土里ネット 那須野ヶ原

(那須野ヶ原土地改良区連合)

〒329-2807 栃木県那須塩原市接骨木 447-8 TEL(0287)36-0632(代) FAX (0287)37-5334 URL http://www.nasu-lid.or.jp